

裁判員制度

— もしもあなたが選ばれたら —

西村 雅彦
加藤 夏希
橘 ユキコ
樋口 浩二
川俣しのぶ
野沢 太三
(元法務大臣)
渋谷 哲平
金子 貴俊
川崎 麻世
中村 雅俊

自分には裁判所の法廷なんて、一生縁がないだろうと思っていた...

監督: 中村 雅俊

脚本: 大根 健一 音楽: 池 頼広

プロデューサー: 黒澤 秀則 (MJエンタープライズ)、北島 和久 (日本テレビアート)、大塚 泰之 企画・製作: 法務省

制作協力: MJエンタープライズ、日本テレビアート 技術協力: ザ・チューブ、バル・エンタープライズ 美術協力: 日本テレビアート 企画協力: 最高裁判所、日本弁護士連合会 撮影協力: 日本大学法科大学院

私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します。

裁判員制度 平成21年スタート



裁判員制度

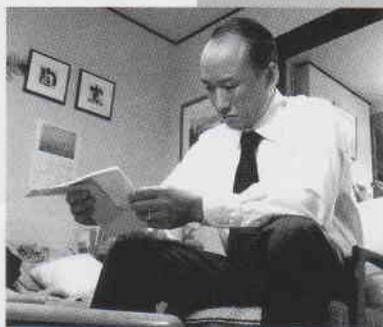
裁判員制度

—もしもあなたが選ばれたら—

【皆さんへ】

このたび、法務省では、最高裁判所や日本弁護士連合会にも協力をいただいて、「裁判員制度」の広報用ビデオを企画・製作いたしました。このビデオは、裁判員に選ばれた人が一体どのような体験をすることになるのかをドラマ仕立てで紹介するものです。裁判員制度とは、国民の皆さんの中から選ばれた裁判員が刑事裁判に参加し、裁判官と一緒に話し合っ、有罪・無罪や刑の内容を決める制度であり、平成21年5月までに始まります。このドラマの中で、篠原裁判長(中村雅俊)は、裁判員たち(西村雅彦ほか)に向かって、「何ひとつ他人ごとはない。ある日突然、誰かが被害者になり、誰かが加害者になる。無関心こそ、最大の罪である。」「同じ社会に生きる人間として、一人ひとりが問題を共有して考えようという意識を作り上げる、それが裁判員制度の意義だと思う。」と語りかけます。これは、まさに裁判員制度のもつ大きな意義を鋭く突いたものであり、私たちが強く訴えたいことでもあります。多くの皆さんが、このドラマをご覧になることを望んでおります。

法務省



それは一通の封筒から始まった

平凡なサラリーマン・小林靖雄(西村雅彦)のもとに一通の手紙が送り届けられた。

「あなたは裁判員候補に選ばれました」仕方なく裁判所を訪れると、数十人の裁判員候補が集まっていた。その多くは、裁判員に選ばれることに対して消極的だ。靖雄も仕事の多忙などを理由に拒否したいと考えていたが、6人の裁判員の一人に選ばれてしまう。裁判官と裁判員による評議が始まる。しかし、素人考えで他人の一生を左右することはできない。被告人に逆恨みされるのも恐い。評議の場は誰もが消極的で、議論は進まない。裁判員という制度そのものに疑問が向けられた時、裁判長(中村雅俊)が答えた。

「同じ社会に生きる人間として、問題を共有して考えることに意義があるんです」

靖雄たちは、裁判員として他人の事件に関わることに意義を感じ始めるようになる。

戦前の一時期、我が国でも「陪審制度」が行われていた。60年以上の時を経て我が国で本格的な司法への国民参加を実現することになる「裁判員制度」。その概略をたどりながら、そこに参加するごく普通の人々を描く。



キャスト



小林 靖雄
【西村 雅彦】



榎原 あや
【加藤 夏希】



小池 孝子
【川俣 しのぶ】



井上 正樹
【樋口 浩二】



杉田 佳子
【橋 ユキヨ】



山本 治雄
【野添 太三(元法務大臣)】



裁判官
【渋谷 哲平】



書記官
【金子 貴俊】



裁判官
【森原 裕子】



大杉 謙介
【菊池 均也】



小林 靖彦
【浜上 竜也】



井出 康一(弁護士)
【若狭 勝也】



高田 徹(検察官)
【農塚 繁志】



真島 理恵
【矢吹 春菜】



マスター
【原 隆仁】



吉村 毅
【馬場 勉行】



小林 幸子
【未来 貴子】



山下
【川崎 麻世】



篠原 和彦(裁判長)
【中村 雅俊】



監督に中村雅俊を起用

俳優・歌手として、テレビ・ラジオ・映画・コンサート、ミュージカルと多岐に渡る活躍を続ける中村雅俊が監督として抜擢された。自らも裁判長役の篠原和彦を演じつつも、長年に渡る役者経験を生かして若手の指導にあたり、見事に他の役者達を生かした演出をこなした「裁判員制度」というまだ現実には施行されていない制度を舞台に、それに関わる人々の人生観・世界観を表現しきっている。

脚本 大根 健一

東京大学駒場キャンパス拠点にする劇団「綺麗」出身。現在は自らが旗揚げした劇壇「tea for two」主宰で、作/演出を行っている。

音楽 池 頼広

コンポーザー・アレンジャー・ベーシスト。映画、舞台、TV番組、ゲームミュージック等、幅広い分野の音楽監督、作曲等を努める。代表作に映画「らせん」、日本テレビ系連続ドラマ「隣人は秘かに笑う」等。

スタッフ

監 督・・・中村 雅俊
脚 本・・・大根 健一
音 楽・・・池 頼広
プロデューサー・・・黒澤 秀則(MJエンタープライズ)
・・・北島 和久(日本テレビアート)
・・・大塚 泰之
スケジュール・・・井原 真治

C A M・・・八柄 哲
L D・・・鈴木 真二
M I X E R・・・瓜生 公伸
V E・・・阿部 正美
編 集・・・高橋 稔
美術デザイン・・・高野 雅裕(日本テレビアート)
美術進行・・・福田 敦司

装 飾・・・青 佑一
衣 裳・・・勝山 美恵
メ イ ク・・・中西 樹里
ス テ ー ル・・・副田 宏明
記 録・・・中島まさ子
助 監 督・・・原 桂之介
・・・野土谷 麻美

プロデューサー・・・阿佐見 猛
制作担当・・・益岡 正志
制作主任・・・町田 虎睦

制作協力: MJエンタープライズ、日本テレビアート 技術協力: ザ・チューブ、パル・エンタープライズ
美術協力: 日本テレビアート 企画協力: 最高裁判所、日本弁護士連合会 撮影協力: 日本大学法科大学院

企画・製作 法務省

法務省HP内「裁判員制度コーナー」www.moj.go.jp/SAIBANIN/index.html

このページは、最高裁判所HP「裁判員制度について」、日本弁護士連合会HP「裁判員制度コーナー」にもリンクしています。